

## DSX ケーブルアナライザーのナレッジベース： 「警告：アダプターは現在の基準値または選択した 規格と互換性がありません。」が表示される理由



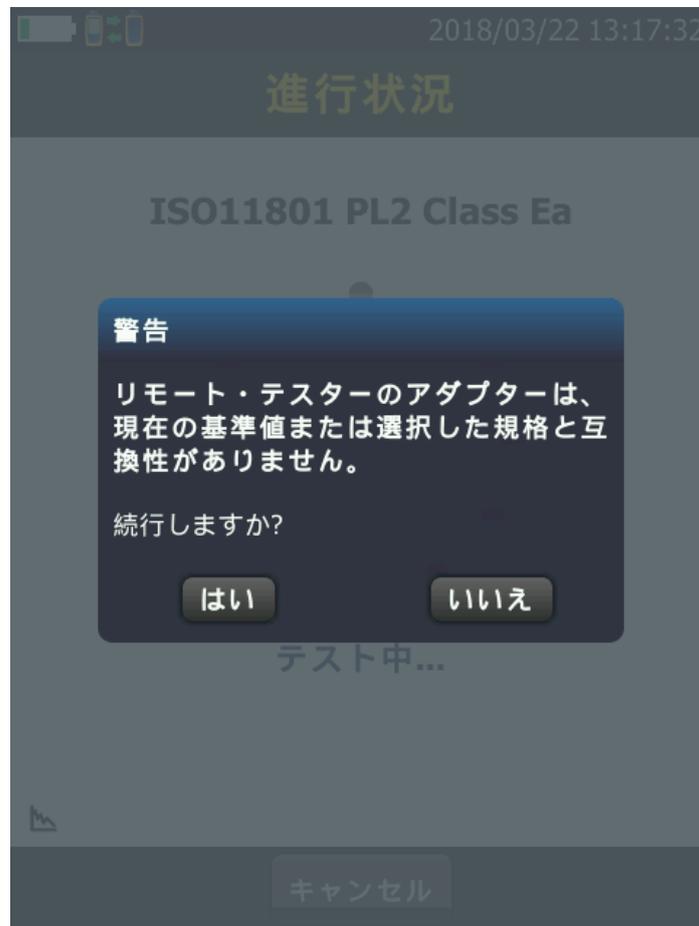
2017 年 12 月 05 日

Robert Pokorny

フルーク・ネットワークス “ナレッジベース” より抜粋

<https://jp.flukenetworks.com/knowledge-base/dsx-cableanalyzer-series/warning-adapter-not-compatible-current-reference-or-selected>

Versiv (DSX-5000 / DSX-8000) でオートテストを実行する際に次の「警告」が表示されることがあります。



### 警告が表示される理由

選択したテスト規格のタイプとメイン・ユニットおよびリモート・ユニットに接続されたアダプターの種類が一致していません。

エラーの原因となるのは、テスターが TIA Cat 6 パーマネント・リンクのテスト規格を使用するように設定され、メイン・ユニットに DSX-PLA804 パーマネント・リンク・アダプター、リモート・ユニットに DSX-CHA804 チャンネル・アダプターを接続しているような場合です。

警告の目的は、リンクのテストが不適切であることを作業者に通知し、敷設工事発注元からの検収が上げられなくなるのを防ぐことにあります。両ユニットにパーマネント・リンク・アダプターを使用した場合とは異なり、Versiv のリモート側でチャンネル・アダプターを使用したテストでは、嵌合されたジャックとプラグの接続を測定することはできません。このため、TIA Cat 6 パーマネント・リンクに基づいたテスト要件である場合に、上の例で「はい」をタップして続行すると、結果が拒否される可能性があります。

### この警告を防ぐ方法

テスト規格がパーマネント・リンク・テスト用である場合、通常はパーマネント・リンク・アダプターをメインとリモートの両ユニットに装着します。その後、被試験リンクのジャック部分にパーマネント・リンク・アダプターの RJ45 を接続します。

テスト規格がチャンネル・テスト用である場合、通常はチャンネル・アダプターをメインとリモートの両ユニットに装着します。その後、パッチ・コードを追加して、チャンネル・リンク・アダプターの RJ45 に接続します。

### この警告が表示されるその他の理由

もちろん、異なるアダプターを組み合わせる必要がある例外もあります。

- Versiv メインとリモート・ユニット間でメタル測定用アダプターが使用されている場合、「ツール」->「基準値の設定」でパーマネント・リンク・アダプター 1 個とチャンネル・アダプター 1 個を使用してユニットを接続する必要があります。「基準値の設定」の接続でオートテストを実行しようとした場合、テスト規格がパーマネント・リンクまたはチャンネル・タイプのテストに設定されていると、互換性の警告が表示されます。

テストに対して間違ったテスト規格を選択した場合：リンクの片端がジャック、もう片端がプラグで加工されている場合、以下のいずれかのテスト規格が適しています。

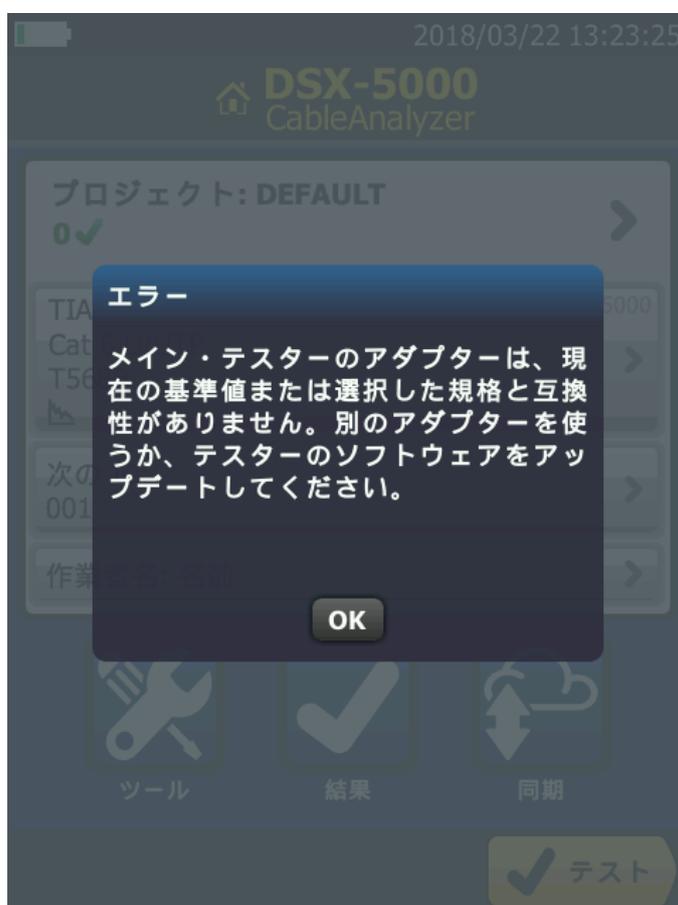
- [モディファイド・シングル・コネクタ・パーマネント・リンク](https://jp.flukenetworks.com/knowledge-base/dsx-cableanalyzer-series/modified-single-connector-permanent-link-dsx-cableanalyzer)（一方に DSX-CHAx04 チャンネル・アダプター、他方に DSX-PLAx04 パーマネント・リンク・アダプターを使用します）  
詳細は次のサイトをご覧ください。  
<https://jp.flukenetworks.com/knowledge-base/dsx-cableanalyzer-series/modified-single-connector-permanent-link-dsx-cableanalyzer>
- [モジュラー・プラグ終端リンク\(MPTL\)](https://jp.flukenetworks.com/knowledge-base/dsx-cableanalyzer-series/modular-plug-terminated-link-mptl-test-limits-dsx-5000-and)（一方に DSX-PCxx パッチ・コード・アダプター、他方に DSX-PLAx04パーマネント・リンク・アダプターを使用します）  
詳細は次のサイトをご覧ください。  
<https://jp.flukenetworks.com/knowledge-base/dsx-cableanalyzer-series/modular-plug-terminated-link-mptl-test-limits-dsx-5000-and>

パッチ・コード規格を使用する場合:

[TIA パッチ・コード規格に基づいたテストでは、専用の DSX-PCxxS パッチ・コード・アダプターが必要です。](https://jp.flukenetworks.com/knowledge-base/dsx-cableanalyzer-series/patch-cord-certification-channel-adapters-dsx-cableanalyzer)  
詳細は次のサイトをご覧ください。

<https://jp.flukenetworks.com/knowledge-base/dsx-cableanalyzer-series/patch-cord-certification-channel-adapters-dsx-cableanalyzer>

チャンネル・アダプターを使ってパッチ・コード試験をすることはできません。TIA パッチ・コード規格を選択し、DSX-PCxxS パッチ・コード・アダプターを使用しない場合は、Versiv に次のエラーが表示され、オートテストを続行することはできません。



## フルーク・ネットワークスについて

フルーク・ネットワークスは、優れた認証/トラブルシューティング/インストレーション・ツールを提供する世界大手企業です。当社の製品は、重要なネットワーク・ケーブル配線インフラを設置・保守する技術者を対象にしています。弊社は、信頼性と比類ない能力において高い評価をいただいております。最先端のデータセンターの設置から災害時の電話サービスの復旧作業に至るまで、すべての作業を効率的に行います。

### DSX-8000 CableAnalyzer™ – メタル配線認証手順のステップの時間短縮を加速化します



最も厳しい測定精度要件である TIA の精度レベル 2G に適合する一方、比類のないスピードで Cat 8 および Class III のメタル認証試験を効率化します。ProjX 管理システムは、作業の確実な実施を実現し、試験のセットアップからシステムの検収までの作業進捗状況の把握を容易にしてくれます。Versiv プラットフォームは、光ファイバー試験 (OLTS と OTDR の両方) もサポートします。このプラットフォームは、将来の規格 改定へのサポートに備え、容易にアップグレードが可能です。近端漏話、反射およびシールド不良を含む不良原因のグラフィカルな表示を行う Taptive (タップティブ) インターフェースにより不良原因のより素早いトラブルシューティングができます。また LinkWare PC 管理ソフトウェアを使用し、試験結果の解析と専門的なテスト・レポートの作成が可能です。

### CertiFiber® Pro – 光ファイバー認証試験プロセスのすべての段階の作業効率を上げ、加速化します

2 波長、2 本の光ファイバー認証の効率を改善し、試験をわずか 3 秒で実施できます。Taptive (タップティブ) インターフェースにより、セットアップの簡素化、間違いの排除、さらにトラブルシューティングのスピードアップが図れます。基準値設定の自動ガイダンス機能により、確実な基準値設定が可能になり、負の損失結果発生もなくなります。OptiFiber Pro モジュールと組み合わせて、Tier 1 (基本) / Tier 2 (拡張) 試験とレポート作成のすべてを行えます。便利な 4 波長モジュール によって、シングルモードとマルチモードの両方に対応できるばかりでなく、マルチモードの EF 適合性能もサポートします。



### OptiFiber® Pro OTDR – データセンター/企業向け光パルス試験器



業界初の企業/データセンターの課題解決向けに一からデザインされた光パルス試験器です。シンプルでこれまでにない効率性、さらにキャンパス、データセンターおよびストレージ・ネットワークのトラブルシューティングに正に必要な機能群を組み合わせたツールで、現場の技術者を、専門知識を備えた光ファイバー専門技術者に変えてしまいます。すなわち、業界唯一のスマートホン・タイプのユーザー・インターフェースを備えることで光ファイバー試験を新たな高みに導きました。そして、DataCenter OTDR コンフィギュレーションにより、データセンター試験における不確実性やエラーが排除されます。その極めて短いデッドゾーンにより仮想化データセンターにおける光ファイバー・パッチコード試験も可能にします。

### FI-7000 FiberInspector™ Pro – 光ファイバー・コネクタ端面を 2 秒で自動合否判定

汚れ、へこみ、小片、および傷による問題箇所をグラフィカルに表示します。業界標準規格 - IEC 61300-3-35 に基づき判定できるため、端面検査における主観的な判断を削除することができます。



### Versiv 製品選択ガイド

選択ガイドへのリンク

フルーク・ネットワークス  
株式会社 TFF フルーク社

〒108-6106  
東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ B 棟 6F  
TEL 03-4577-3972 FAX 03-6714-3118  
Web サイト: <https://jp.flukenetworks.com>  
©2022 Fluke Networks Inc. All rights reserved.  
Printed in Japan 11/2022 7002423B